

項目	評価指標	具体的（数値）目標	評価		結果の考察	
			自己評価	関係者評価	自己評価コメント	学校関係者評価コメント
3年間を見通したキャリア教育の充実	組織的・体系的な進路指導	① 統一LHRの活用	3	3.1 3.7	①各学科・各担任の協力により計画通り実施できた。 ②定期的に面談をすることで生徒の進路希望や友人関係等の状況把握ができた。 ③企業主催の進路ガイダンスは参加の呼びかけは積極的に行ったが、事後の活用までできなかった。 ③3年生でのマナー講習会や卒業生の声を聞く会、進路座談会などで意識の高揚が図れた。 ③国公立大学進学希望者の面接指導は組織的な面接指導ができた効果が上がった。	②学期ごとに実施されたことで、先生からのアドバイスが自分を知るヒントになり、進路への関心の高まりに繋がっている。 ③進路ガイダンスの活用を進めて欲しい。また、卒業生の声を聞く会は、進路意識の高揚に効果的であったと感じる。
		② 進路に関する面談指導を年1回以上実施	3.3			
		③ 進路ガイダンスの実施	3			
	勤労観・職業観の醸成	① インターンシップの活用	3.7	3.7 4	①各学科の専門性に合ったインターンシップが実施できた。併せて、生物工学科では2学期に宮農版デュアルシステムを実施できた。 ②地域企業、商工会、関係団体との連携により学習が深まった。 ②環境工学科では「出前測量」として市内小中学校のグラウンドでトラックの測量を行い正確なラインを引くなど専門性を活かした地域貢献ができた。	①②地域の農家・企業・関係団体の協力を得てのインターンシップ等の経験は、職業観や勤労観の醸成に向けた取組となり、将来の職業選択への一助となっていると思う。今後も引き続き充実させてもらいたい。 ②環境工学科の出前測量の取組は素晴らしい。
		② 地域や産業界と連携した取り組み	3.8			
	地域との連携	① PTAや同窓会との連携	2.3	3 3.7	①MIYANO振興プロジェクトで同窓会若手就農者と意見交換会を実施し活動計画を決め、イチゴ・スイートコーン・ダイコン農家で実習を行った。 ②関係機関、企業に外部講師を依頼することや、修学旅行で各学科の専門に沿った企業見学を行い、専門学習の深化、進路意識の醸成ができた。 ③1年生は県主催「〇〇ごっこ2017」に参加しキャリア教育の観点から効果が高かった。 ③2年生でライフプランセミナーを生命保険会社の方を講師として実施し、人生設計について学んだ。 ③模擬選挙、講演会等充実した主権者教育ができた。	①PTAとの協力体制は良好である。同窓会の結束も強く、卒業生の協力でキャリア教育ができていていると感じる。 ②修学旅行では関東地区の大手企業の見学をとおして、そのスケールの大きさ先端技術に触れることで進路意識が高まった。 ③今後、地域の中学校で行われている花育運動に宮農生が講師として参加し、日頃の学習の成果を発揮させる等に取り組んでももらいたい。
		② 外部講師の活用	3.3			
		③ 企業等視察・研修の実施	3.3			
基礎学力の向上・定着	分かる授業の推進	① 授業公開を年1回実施	3.4	3.2 3.7	①②「キャリア教育の視点からの授業改善」をテーマに授業研究を進め、2回の授業公開を行い授業力の向上に繋がった。今後もさらに深めて行く必要がある。	①②授業公開による授業改善の取組はよいと思う。今後も継続し、成果をどんどん日常の授業に取り入れてもらいたい。 ②教科の基礎学力とともに、リテラシー（情報収集・選択等）力の育成にも取り組んでももらいたい。
		② 授業改善の取り組み	3.1			
	主体的に学習に取り組む姿勢の育成	① 校内国語常識・計算力テストの実施	3	2.9 3.3	①基礎学力向上が狙いであることを生徒にしっかりと理解させ、確実に取組む指導が必要な生徒もいた。 ②定着し落ち着いた朝を過ごしている。 ③資格取得に向けて朝課外学習を実施し、合格率も上がってきている。 ④生徒のテストへの取組の甘さとそれに伴う欠点保持者の増加に対して組織的に取組む必要がある。そこで、全職員に学力向上のためのアンケートを実施し、抽出した課題についてその対策を今学期中に検討し来年度に実施したい。 ④宅習実態調査の結果の活用を図る必要がある。 ⑤学習委員会の呼びかけで定着しつつあるが、意識の温度差があるためさらに進める必要がある。	①学力向上に繋がると思うので続けて欲しい。 ②静かな時間を設けることにより穏やかに1日をスタートできていると思う。 ③朝夕課外があることで、意識が高まり結果に結びつくと思う。 ④学年が進行するにつれて学習への主体性が増してきた生徒もいる反面、進路が早期に決まった生徒の中には意欲が低下する生徒もいるので工夫が必要と思う。 ○アクティブラーニングの研究授業を参観したが、生徒の主体性を引き出す工夫が足りない。さらに研究を深めて欲しい。
		② 朝読書の充実	3.5			
		③ 資格取得率の向上	3.4			
		④ 家庭学習の促進・充実	2.1			
		⑤ チャイム トロ チャイム	2.7			
	教育環境の改善	① 地域農業進展に対応した農場整備と活用	2.8	3.1 3.6	①施設設備の老朽化に伴う更新予算がなかなか付かない中で、特別会計を活用して少しずつ進めることができた。 ②夏季は快適な学習環境のもと授業に取り組めた。 ③地域企業との連携で新商品開発が進むなど、専門教育の深化に繋がった。	①②生徒はよい環境で学習できることに感謝しなければならぬと思う。また、PTA等と連携し製氷機を設置したが夏場の部活時の熱中症対策に活かして欲しい。 ③企業との連携により開発された新商品は評判がよかった。企業力を借りて生徒を伸ばす教育を推進して欲しい。
		② 普通教室棟のエアコン設置	3.7			
		③ 連携教育の推進	3			
基本的生活習慣の確立	欠席・遅刻をなくす指導	① 遅刻者への常時指導	2.6	2.8 2.8	①毎朝、朝の正門、昇降口で声かけを行い、励ましながら指導しているが繰り返す生徒が多く、家庭との連携、全校的な遅刻指導を通して時間を守る指導を徹底する必要がある。	①遅刻指導は家庭との連携が特に必要と思う。
		② 挨拶の励行と容儀指導の徹底	3			
	公共マナーの徹底	① 交通安全、情報モラル教室の実施	2.8	2.8 2.6	①交通安全は毎朝、登校時に行っているが、小さいにしても自動車との接触事故が多い。身を守るためのマナーの指導を進めたい。情報モラルは講演会での指導を行ったが、SNSのトラブルも多く家庭と連携した個別指導をさらに進める必要がある。	①挨拶の声の大きさ等に差があるものの、必ず返してくれるので宮農生らしいと感じる。 ②指導基準の各学科間でそろえる工夫は必要であるが、挨拶運動等で見ていると服装等で気になる生徒は見かけない。先生の日常的な指導のおかげと思う。
		② 清掃指導の徹底	2.8			
	いじめのない学校づくり	① 学期ごとにアンケートの実施・早期対応	3.2	3 3.2 3.5	①交通安全は毎朝、登校時に行っているが、小さいにしても自動車との接触事故が多い。身を守るためのマナーの指導を進めたい。情報モラルは講演会での指導を行ったが、SNSのトラブルも多く家庭と連携した個別指導をさらに進める必要がある。 ②2学期に「障がいに対して私たちの理解を深める」をテーマに人権講演会を実施し、生徒の人権意識の高揚が図れた。 ③教育相談週間を設定し面談を充実させたり、教育相談係と学年会とが連携して生徒の状況把握、相談等の対応ができた。	①ヒヤリ・ハットが重大事故に繋がることを家庭や地域関係機関と連携してしっかり教える必要があると思う。 ○地域は宮農はきれいな学校と感じている。学校周辺の環境整備もできる範囲でも進めて欲しい。 ①校庭を見るときれいに整備されていると思うが、トイレなど汚れている事もあったと聞いたので細やかな部分まで気を遣う清掃活動を目指して欲しい。 ②いじめや差別をなくすことは簡単ではないが、早期対応により解決に向かっているのではないかなと思う。いつでも誰でも即応する体制が大切であると思う。 ③赤江まつばら支援学校との交流会は大変よいと思う。全校生徒に広げられると素晴らしいと思う。 ○学校カウンセラーは生徒の心を支える観点からは必要である。配置を関係機関に働きかけて欲しい。
		② 全教育活動を通しての人権教育推進	3			
		③ 教育相談週間実施による教師と生徒の相互理解	3.2			

生徒の主体的活動の充実	1	部活動の活性化	①	1年生全員部活動加入	2.8	2.8	3	①3年生までで加入率は95％と非常に高いが、1年生の途中退部でそのまま無所属の生徒もわずかながらあるがいたり、活動に差があるなど指導の徹底が必要である。 ②学期毎に集会を開き、主体的な部活動等の指導が行われた。 ③全国大会等に繋がなくとも、良好な成績をあげる部	①部活を3年間続けられることが素晴らしいと思う。ただ、活動に差があることで意欲をなくす生徒もいるようである。しかし指導者には感謝する。
			②	定期的なキャプテン集会及び部活動生集会の実施	3.3				
			③	上位大会進出	2.3				
	2	生徒会活動の充実	①	前年度の反省を活かした各行事運営	2.9	2.7	2.8	①係を中心によりよい行事運営を心がけ、本年度の行事も概ね成功に終わった。しかしながら、教師主導の部分も多く、役員生徒でもあるが、参加する生徒の主体性を引き出す指導を行う必要がある。 ②滞りなく実施できたが、生徒の主体性をもっと引き出す指導が必要である。	①②生徒会役員であっても活動への温度差がある塗聞く。主体性を育てることは大変と思うが、社会人として大切な資質なので高校で少しでも身につけさせて欲しい。
			②	委員会活動の活性化	2.5				
	3	農業クラブ活動の活性化	①	校内大会の充実及び上位大会進出	3.4	3.4	3.6	①平板測量競技会で全国大会に出場し、農業鑑定競技で園芸・食品・農業土木の3分野で優秀賞を獲得できた。また、発表部門では2部門九州大会に出場した。さらに農業クラブ役員は毎週水曜日を農ク活動の日とし、活動に取り組んだ。	①活動内容のPRをもっとすることで農高の良さが発信できるのでないかと思う。活動することで様々な力が着くと思う。
	4	家庭クラブ活動の活性化	①	校内大会の充実及び上位大会進出	3	3	3.5	①県研究発表大会でのホームプロジェクト発表で優秀賞を受賞することができた。校内活動でも役員が中心となり活動ができた。	①活動内容のPRをもっとすることで農高の良さが発信できるのでないかと思う。活動することで様々な力が着くと思う。

評価の基準　【4：良くやれた】　【3：どちらかといえば良くやれた】　2：【どちらかといえば良くやれなかった】　【1：良くやれなかった】